

【第3号】平成30年度 事業計画について

平成30年度事業計画

1 総会の開催

(1) 総会

大分県医療ロボット・機器産業協議会の事業計画等を会員へ報告するため総会を開催する。

開催日：平成30年6月13日（水）15：00～15：30

場 所：レンブラントホテル大分

2 医療関連産業新規参入促進セミナー等

(1) 医療関連産業参入促進セミナー（6月13日、7月、9月、2月）

医療機器産業への新規参入事例や法規制に係る人材育成のため、九州ヘルスケア産業推進協議会（HAMIQ）と連携し、医療産業参入促進セミナーを開催する。

(2) 東九州メディカルバレー構想推進大会

東九州メディカルバレー構想の具体化を図ることにより、産業の集積と地域の活性化を一層推進するため、大分大学及び東九州メディカルバレー構想推進会議と共催で構想推進大会を開催する。

開催日：平成31年2月頃

場 所：大分市内

3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング

(1) ニーズ探索会（年3回）

会員企業の新規の機器開発案件を探すため、医療機関や福祉施設等と連携してニーズ探索会を実施する。

(2) 医療関連機器開発ビジネスマッチング会

医療機器メーカーへの部品供給やOEM受注に向けて、県内ものづくり企業とのマッチング会を開催する。また、コーディネーターによるマッチング後のフォローアップも実施する。

(3) 臨床ニーズブラッシュアップ会議

医療機関等から発信されたニーズを医療機器開発の有識者で構成するブラッシュアップ会議においてその妥当性や市場性等の検証や評価を実施し、事業化有望なニーズを県内ものづくり企業とのマッチングにつなげる。

(4) 医療関連機器規格等取得支援補助事業

医療・福祉機器の開発を促進するため、ISO13485、CEマーキング等の認証等に要する経費に対し助成を行う。

対象者：会員企業
対象経費：需用費、委託料、報償費、外注費、旅費、備品購入費、工事請負費、負担金
補助率：補助対象経費の1/2以内
補助金額、採択予定件数：100万円以内 2件程度

(5) 機器開発ワーキンググループ

開発ニーズと会員企業とのマッチング率を向上させるため、ニーズを元に機器開発を行うワーキンググループの活動を支援するとともに、活動に要する経費に対し助成を行う。

対象者：会員企業が事業主体となるワーキンググループ
支援数：10グループ程度
対象経費：講師謝金・旅費、雑費等
補助上限：1グループ 15万円以内

(6) 医療機器開発人材育成支援事業

県内での医療機器開発を促進するため、医療機器の研究開発や事業化、法規制等に関する研修会やセミナー等の開催や運営を支援するとともに、会員中小企業によるMDIC認定取得に要する経費の一部を助成する。

4 研究開発補助事業

(1) 現場ニーズ試作品開発補助事業

事業化有望な現場ニーズについて研究開発や事業化を目指す会員企業が行う医療関連機器の試作品開発に要する経費に対し助成を行う。

対象者：臨床現場と連携して現場ニーズに基づく試作品開発を行う会員中小企業
対象経費：プラント・機械装置費、原材料費、外注加工・分析費、旅費、謝金、事務庁費、委託費
補助率：補助対象経費の2/3以内
補助金額、採択予定件数：100万円以内 6件程度
募集時期：随時 *予算の上限に達し次第終了

(2) 医工連携研究開発推進補助事業

医療・介護・福祉・看護の4分野において、会員企業が新たな医療関連機器等の研究開発に要する経費に対し助成を行う。

対象者：大学、医療機関及び県外企業等と連携した会員中小企業
対象経費：プラント・機械装置費、原材料費、外注加工・分析費、旅費、謝金、事務庁費、委託費
補助率：補助対象経費の2/3以内
補助金額、採択予定件数：400万円以内 4件程度
募集時期：平成30年4月～5月(予定)
※プレゼンテーション審査を経て、その結果を踏まえ決定します。

5 専門家派遣事業

(1) 医療機器開発専門家派遣

医療関連分野における機器開発から販路開拓まで各分野に精通する専門家をアドバイザーとして委嘱し、会員企業の参入ステージに応じた専門支援を実施する。

6 販路開拓・拡大事業

(1) おおいた産医療関連機器導入推進補助事業

会員企業が開発・製造する医療関連機器の医療・福祉現場への導入を促進するため、県内医療・福祉機関が新たに機器を導入する経費等に対し助成を行う。

対象者：県内の医療・福祉機関

対象経費：機器導入費（レンタル・リース含む）、症例報告等に要する経費

補助率：補助対象経費の1/2以内

補助金額、採択予定件数：50万円以内 10件程度

募集時期：随時 *予算の上限に達し次第終了

※県産医療関連機器として事前に登録された機器が対象

(2) 展示会共同出展事業

東九州メディカルバレー構想の情報発信や会員企業が開発した医療関連機器を県内外にPRするため、医療系展示会に協議会ブースを設け、会員企業の共同出展を支援する。

○第13回アジアメディカルショー

平成30年6月22日～23日

○第45回国際福祉機器展 H.C.R 2018

平成30年10月10日～12日

○大分県病院学会

平成30年11月18日

(3) 販路開拓支援事業

会員企業が開発した新機器等の販路開拓のため、展示会等への出展料等に対し助成を行う。

対象経費：会場借上費、展示品運搬費、印刷製本費等

補助率：補助対象経費の1/2以内

補助金額、採択予定件数：(国内展示会) 20万円以内 6件程度

(海外展示会) 50万円以内 2件程度

募集時期：随時 *予算の上限に達し次第終了

7 コーディネータの配置

(1) コーディネータ配置

会員企業の医療関連機器産業への新規参入をワンストップで支援する体制を強化するため、会員企業による機器開発から販路開拓まで伴走し、フォローするコーディネータ（1名）を新規雇用する。

8 専門部会

(1) 看護関連機器開発部会

「我慢させない看護」の実現に向けて看護関連機器開発を促進するため、看護関連機器開発部会（部会長：大分県立看護科学大学 看護研究交流センター 影山教授）を開催するとともに、関連事業を実施する。

(2) 介護・福祉関連機器開発部会

東九州メディカルバレー構想の更なる推進に向けて、県内の産学官が連携した高齢者や障がい者の自立支援及び介護現場の生産性向上に貢献する機器開発を促進するため、介護・福祉関連機器開発部会（部会長：大分大学理工学部 今戸教授）を開催するとともに、関連事業を実施する。

その他

- 大分大学医学部臨床医工学センターが実施する「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」や大分県医療介護ロボ・HAL®研究会、一般社団法人九州先端リハビリテーション・ケアクラスター推進機構等関係団体との連携した取組を推進する。
- 東九州メディカルバレー構想の下、宮崎県や福岡県等との近隣自治体との連携した取組を推進する。